

一般質問

町長の施政方針を聞く

展望を含め基本的考えを示す／町長



にしむら さくお
西村 策雄 議員

問

経済の混乱の中、平成二十一年度の黒潮町の施政方針と予算の概要が提出された。

継続事業、新規事業、休止事業の数字が少ない。町税など一般会計も同様、町民が分かるように提案すべきではないか。

答

下村正直 町長
提案の段階で将来展望も含め、基本的な、数字的な問題は、概要で示している。

職員定数の削減も図つてきたが将来の年齢的な偏りが出ている。人件費の抑制も同

時に図っているが、職員もかなり過重になっているし、二十一年度は二人の職員採用を予定している。

道路改良と津波対策

ソフト事業で対応

／佐賀総務課長

問

浜町の道路改良は、避難路と排水の関連する道であるため誠意のある対応をすべきと思う。

次に起こる津波は船がプラスチックのため、壊れずに民家を襲うことになる。港周辺の防護壁設置の調査をすべきではないか。

海岸は沖積平野の地形のため、大津波が予想される。津波止めの水門を造れないか。

答

藤本岩義 佐賀総務課長
矢野健康 海洋農林課長

浜町地区では、事業計画も説明して関係者と交渉を行い、避難路として完成に努めたい。地震が発生した場合、津波の

高さが大方地域で7.9m、佐賀地域で5.6mと予想されている。本町としては、防波堤などの整備は大きな事業となるので、ソフト対策に取り組むことにしている。住民の生命と財産を守るには防波堤は大切と思うが、早期の整備は困難である。

生活道の整備維持を前向きに

町道改良を進め、住環境整備目指す ／大方まちづくり課長

問

知事は中山間地域の道を、命の道として整備を進めると言っている。大方地区の林道、農道を町道に昇格し、補助比率のよい道にすべきではないか。地方交付税法関係の適用をどう考えているか。

答

松田博和 大方まちづくり課長
大方地域の町道認定を見直し、修正路線を合わせ六十二路線を追加認定した。

道路の利用状況は変化している。町道の認定、改良を進めて、住環境の整備向上

を目指したい。

農林水産業の活性化について

今後検討したい ／海洋農林課長

問

黒潮町の水産業の水揚げ高が減っている。資源の枯渇も一つの原因ではないか。

三重県の南島町の議員に來町時イセエビ魚礁設置を進められた。水揚げ倍増に取り組めないか。

農業生産の取り組みについて、同僚議員から堆肥場設置の要望があったが、その後の経過はどうなっているのか。

答

矢野健康 海洋農林課長
佐賀、大方とも近年水揚げ量に変化がある。エビ魚礁については、会計検査で効果が出ていないとの指摘で、現在休止している。県に二十一年度実施を願うとして、今後の対応を検討したい。

堆肥施設は広域な取り組みも含めて整備が可能かどうか検討したい。